

人権課題	① 女性	② こども	③ 高齢者	④ 障がい者	⑤ 部落差別(同和問題)	⑥ アイヌの人々	⑦ 外国人
	⑧ 本邦外出身者に対する不当な差別的言動		⑨ 感染症の患者等	⑩ ハンセン病患者・元患者及びその家族	⑪ 刑を終えて出所した人及びその家族		
	⑫ 犯罪被害者及びその家族		⑬ 北朝鮮当局によって拉致された被害者等	⑭ 性的マイノリティの人々		⑮ その他	⑯ 人権一般

※人権課題の分類は、令和7年6月、国が策定した「人権教育・啓発に関する基本計画(第二次)」によります。

地域	人権課題																氏名・名称	活動内容(表記は、登録者・団体の登録票による)	ホームページ アドレス
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯			
東信		○		○													社会福祉法人かりがね福祉会 小林彰	障がい児・者の生活支援、就労支援 相談、助言、協力活動 社会福祉法人かりがね福祉会理事長 社会福祉法人 恵仁福祉協会理事長	http://www.karigane.or.jp/
東信				○													保科 清(長野県視覚障がい 者マラソン協会)	長野県視覚障がい者マラソン協会(略称:NBMA)は、視覚障がい者と伴走ボランティアがマラソンを通じて交 流を深める目的で設立され、会員相互の親睦と交流を図る、底辺の拡大と伴走ボランティアの拡大を図る、トレー ニングにより、レベルアップを図る、伴走ボランティアとの練習または本会に参加することにより、ノーマライゼーシ ョンを図る、各種大会に積極的に参加する を目標に活動を行っている。 ～プロフィール～ シドニー、アテネパラリンピック2大会連続出場 フランス世界選手権大会出場 アジアパラリンピック「フェスピック」出場	
東信				○												○	井出 今日我	「障がいの有無で分けないダイバーシティに溢れた共生社会」実現に向けて様々なアプローチを行っています。 筋ジストロフィーという特徴のある井出と心臓に特徴のある仲間と小中高等学校や教育機関などでの講演活動を通 じたアプローチ。 障がいではなく特徴と表現することで変な特別感を減らす意図があります。 長野県ヘルプマークディレクターとしてのアプローチ。 電動車椅子サッカー選手としてのアプローチ。 多様な人の社会的自立と経済的自立を目指す凸凹's(でこぼこず)という団体としてのアプローチ。 「障がい者」という分野を超えたアプローチをしています。 若い頃から多様性に触れる経験や心のバリアフリーを育むことで、数年後・数十年後に 人を「障がいの有無」などで分けない大人に育っていく事を願っています。 現地での講演やオンラインでの講演など、対応可能です。ご相談ください。	
南信				○													玉置 優子	諸事業での手話通訳、各種講演会での手話指導、地域住民への手話の普及	
南信				○													社会福祉法人 アンサンブル会	知的障がい者施設の運営 地域と障がいの者の交流の促進	http://ws-ensemble.com
南信		○	○	○													社会福祉法人 日本聴導犬協会	聴覚障がいまたは肢体障がいのある方々への聴導犬・介助犬の無料貸与。聴導犬・介助犬の普及啓発活動として のデモンストレーションや講演会(有料)、学校の総合的な学習への情報提供。2023年2月から長野県中央募金 会のご助成による無料「オンライン授業:『福祉および障がい支援:聴導犬・介助犬ってどんなことをするのか?』」を ご希望の小学校様とさせていただきます。ぜひ、ご応募いただきたく、よろしく願いいたします。犬を飼っている65 歳以上のシニアの方に訓練方法をご指導して、ご自身で訓練をして愛犬が日常のお手伝いができるようにする「シ ニアサポート犬」の活動もさせていただきます。	https://www.hearingdog.org
南信				○													NPO法人はらっぱの会	精神の障がいと共に生きている人たちと市民が地域の中で 出会い語り合える場として、毎週木、金、土曜日に日 替わり定食ランチの提供を中心としたレストラン営業と、天然酵母、国産小麦で作ったパンを販売しています。精神 の障がいの体験活動も可能です。	

人権課題	① 女性	② こども	③ 高齢者	④ 障がい者	⑤ 部落差別(同和問題)	⑥ アイヌの人々	⑦ 外国人
	⑧ 本邦外出身者に対する不当な差別的言動		⑨ 感染症の患者等	⑩ ハンセン病患者・元患者及びその家族		⑪ 刑を終えて出所した人及びその家族	
	⑫ 犯罪被害者及びその家族		⑬ 北朝鮮当局によって拉致された被害者等		⑭ 性的マイノリティの人々		⑮ その他

※人権課題の分類は、令和7年6月、国が策定した「人権教育・啓発に関する基本計画(第二次)」によります。

地域	人権課題																氏名・名称	活動内容(表記は、登録者・団体の登録票による)	ホームページ アドレス
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯			
南信				○													前田 大介 (長野県パラ水泳協会 会長)	水泳を中心とし、車椅子バスケ・カヌー・ボート・チェアスキーなど、障がい者スポーツの普及、振興、技術向上に努め、障がい者の社会参加を勧めている。また、一般向けにも車椅子バスケ教室を行い、共生社会を築くきっかけになればと活動をしています。 【過去の成績】 2000年シドニーパラリンピック出場(水泳) 2002年ブサンフェスピック大会(水泳:銅メダル) 2004年アテネパラリンピック(水泳:銀メダル) 2010年広州アジアパラ競技大会(ボート:銀メダル) 2014年仁川アジアパラ競技大会(ボート:銅メダル)	https://sites.google.com/view/nagano-para-swim/
南信		○		○													高橋 泰宏 (NPO法人子ども・若者サポートはみんぐ)	こどもの権利や不登校、ひきこもりの体験談を基にした講演、個別相談等の実施 生きづらさ、社会とのつながりにくさに悩む若者の居場所「おら」ピアスタッフ 飯島町登録ひきこもりサポーター 長野県自立支援協議会委員、飯田市社会福祉審議会障がい者福祉分科会委員 長野県障がい者ピアサポート研修講師・ファンリテーター 精神障がい当事者の体験談を伝える講演や授業、研修等の実施 精神障がい者のピアサポート推進、差別・偏見をなくす権利擁護や普及・啓発活動(長野県ピアサポートネットワーク役員、ピア南信しあわせの種メンバー、精神障がい者ピアサポート専門員) WRAP(元気回復行動プラン)によるセルフケア体験ワーク、コミュニケーション講座等	
南信			○	○													宮脇 学	私には「脳性まひ後遺症」がある。年を重ねるごとにできないことが増えていく。ただそれを「障がい者」と結論付けてはいけないと思う。2020年春、寝たがりの状態となって、これも人生の一幕と考えながら、頸髄症固定術を受けたのち、車いす生活ができるようになった。年を取るとは、ほとんどの人が経験する現象。このような考えから、障がい者・高齢者の人権について語り合える場が増えるよう願う。	https://young-ebino-9649.mods.jp/index.html
中信		○		○													大池 幸一郎	障がいのある人の相談、地域生活援助、障がいのある人が自らの体験を語る講演会等の啓発活動 「いじめ」問題に関する講演	
中信				○													中西 博	知的ハンディのある人たちが構成する楽団「ケ・セラ」の前代表。現在は、「とれもろ・マンドリン・オーケストラ」の代表を務める。障がいのある子どもの音楽教室も行う。	
中信			○	○													降幡 和彦	高齢者・障がい者の人権に関する各種講演・講座	http://www.avis.ne.jp/~pianet21
中信				○													NPO法人 ケ・セラ	障がいのある人たちが構成する楽団。2002年に結成。レパートリー100曲程度。ご依頼に合わせたコンサートや講演を行います。	https://npo-que-sera.org/
中信				○													信州言友会 (松本支部、長野支部)	会規約の目的「吃音問題解決に寄与すること」を達成するために、吃音に関する学習会・相談会・例会を開催している。	www.lcv.ne.jp/~fujis08/
中信		○	○	○	○												○ 横山裕美	絵本に込められた作者の思いを、読み聞かせを通して人権(命)の大切さを伝える。	

人権課題	① 女性	② こども	③ 高齢者	④ 障がい者	⑤ 部落差別(同和問題)	⑥ アイヌの人々	⑦ 外国人
	⑧ 本邦外出身者に対する不当な差別的言動		⑨ 感染症の患者等	⑩ ハンセン病患者・元患者及びその家族		⑪ 刑を終えて出所した人及びその家族	
	⑫ 犯罪被害者及びその家族		⑬ 北朝鮮当局によって拉致された被害者等	⑭ 性的マイノリティの人々		⑮ その他	⑯ 人権一般

※人権課題の分類は、令和7年6月、国が策定した「人権教育・啓発に関する基本計画(第二次)」によります。

地域	人権課題																氏名・名称	活動内容(表記は、登録者・団体の登録票による)	ホームページ アドレス
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯			
北信				○													宮崎 隆司	すこう福祉会理事長 ワークハウスわらしべ 障がい者が地域でいきいきと暮らすための支援、地域と障がい者の交流活動を行っている。	
北信				○													安川 健治	発達障がい(言語障害《吃音》を含む)児(者)の社会生活の充実を目指して、感覚刺激の整理・分かる状況づくり(情報環境の整備)、周囲の人々の正しい理解(人的環境の整備)など、生活環境の整備を進めるという主旨で、講演を実施。	https://nagano-shajikyo.or.jp/n-k-life/
北信				○													スペシャルオリンピックス日本・長野	スペシャルオリンピックス(SO)とは、知的発達障がいのある方たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織。長野県内に7支部があり、約550人が参加している	https://sonnagano.com
北信				○													社会福祉法人 大志会稲荷山太陽の園	施設見学やボランティアを受け入れ、障がい者が地域で生活するための必要な理解と啓発活動をすすめる	
北信				○													社会福祉法人 いなりやま福祉会	障がい者の働く場として、地域と交流したり働いたりすることを通じて社会参加をしている	
北信				○													社会福祉法人 花工房福祉会 多機能型事業所エコーンファミ リー	「障がいがあっても、地域でふつうの生活ができる」を支援するために障がい特性を活かせる作業の場をつくったり、地域と連携し、障がい者の労働力を提供したりと元気に働いていただいています。	http://www.hanakobo-fukushikai.jp/